

臨時第3回評議員会議事録概要

平成27年3月26日午前10時30分、教育会館2階中会議室において、臨時第3回評議員会を開催した。

出席評議員 10人（評議員総数10人）

福澤正人、井上純一、大川五郎、柏手茂、首藤幸子、関口博正、
高岡捷二、中村勝光、西山滋恩、平野恵美子、

出席理事 伊藤裕、安達信行、岩崎由紀子、梶井龍太郎、丸山孜、杉山鎮夫、
田中國義

監事 大曾根俊久、岩崎和子

定刻になったので司会者総務施設課長川村潔は開会を宣し、本日の評議員会は評議員10人中10人並びに理事7人及び監事2人の出席を得ているので有効に成立した旨告げ、評議員会運営規程第8条第1項により評議員会会長が議長となり議案の審議にはいった。

議長は、本日の議題は、議案として「議案第6号職員管理計画」、「議案第7号平成27年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込みについて並びに資金収支予算」の2件と、報告事項として「事務所建設検討の進捗状況」、「その他」である旨を告げ、審議にはいった。

議案第6号職員管理計画

議長は、議案第6号職員管理計画について理事長に説明を求めた。理事長は、職員管理計画の策定理由を第1次中期経営計画・事業実施計画に基づき人件費管理の観点から職員数を計画的に管理していくためにこの計画が必要であるとし、議案第6号別紙により計画期間、計画の基本的な考え方、計画の目標職員数等を説明した。評議員から市派遣職員の給与等の負担内訳について質問があり、理事長は、給料を平塚市が負担し、その他の管理職手当、勤勉手当、通勤手当、福利厚生費等は財団が負担している旨を説明した。議長が諮ったところ、出席評議員全員一致をもって原案を可決決定した。

議案第7号平成27年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の

見込みについて並びに資金収支予算

議長は、議案第7号平成27年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込みについて並びに資金収支予算について理事長に説明を求めた。理事長は、議案第7号平成27年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込みについて並びに資金

収支予算について、議案第7号別紙と資料1と2によりその内容を説明した。評議員から中央公民館ホールを利用した歌舞伎を予定しているがその内容について、市民センターの使用中止に伴う錦町駐車場の利用促進策について、市民センターの今後について等の質問があり、理事長は、中央公民館ホールの規模で可能な歌舞伎の所作等の鑑賞を含む演目を検討していること、錦町駐車場については市民センターホールの利用中止に伴う利用者減に対し定期利用者の促進で対応すること、平塚市として現市民センターを耐震補強し新たな市民センターを整備するまで現市民センターを使うか、新市民センターの整備時期をどうするか検討中であるので、財団としてその動向を注視している旨を説明した。評議員から総合公園野外ステージや美術館等市内の公共施設を文化事業での活用を検討できないか、機能面からも現市民センターは老朽化しているので、新市民センターの建設を財団として要望してほしいこと、また、財団の新たな事業として、従来の学生等を対象とした助成に加え一般市民が行う文化やスポーツについても応援する助成事業を検討してはどうかなどの意見があり、理事長は、市内の公共施設を活用した事業展開は、市とも協議しながら検討していくこと、新市民センターについては、財団としても機会あるごとに要望していくこと、新たな助成事業については、今後、検討していく旨を説明した。議長が諮ったところ、平成27年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込みについて並びに資金収支予算について、出席評議員全員一致をもって原案を可決決定した。

事務所建設検討の進捗状況

理事長は、事務所建設検討の進捗状況について、別紙事務所建設検討委員会報告書により平成26年6月から現在までに検討した事務所建設の基本理念、基本方針、事務所の規模、配置する機能等を報告し、今後の予定として、平成27年度に基本設計、平成28年度に実施設計・施工し、平成29年6月に新事務所の供用開始で予定している旨を報告した。評議員から新事務所は東海道本通りに接しているので、平塚に相応しい外観が望まれるとの意見があり、理事長は、事務所建設の検討については、効率的な業務運営を行うために統一した事務所の整備を第1としたもので、外観については、今後、基本計画を策定する中で検討する旨を説明した。

その他

議長は、その他として意見等を求めたところ、評議員から特に無い旨の発言があった。

以上をもって議案の審議を終了したので、議長は閉会を宣し午前11時50分閉会した。